

# 静岡松涛タイム 第66号

発行元：静岡県本部広報部 責任者：置塩大三郎

連絡先：0547-35-4537(TEL&FAX)

E-mail：takkukan@lemon.plala.or.jp

県本部 HP：http://www.shizuoka-karate.com/

広報部 HP：http://plaza.across.or.jp/~cyber-ex/

謹賀新年

## ■平成26年 年頭所感■



新年明けましておめでとうございます。静岡県本部の会員、そして、ご家族の皆様が健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。当県本部も総本部登録会員数が1200人を超えるまでになり、全国でも屈指の県本部となりました。これも、ひとえに先生方や各支部長、指導員を始め会員各位の情熱と、努力の賜物と深く敬意を表したいと思います。さて、昨年はスポーツの指導における体罰が全国各地で問題になりました。私たちの求めている空手道はどのようなものなのか、今一度原点に戻って考える良い機会ではないでしょうか。現在の空手道の環境を見てみますと、我々日本空手松涛連盟の各種大会以外にも、様々な大会が開催されています。選手にとって多くのチャンスに恵まれることは歓迎すべきことではありますが、そのことによって勝利至上主義の考え方になり、結果として体罰を生むことにもなりかねません。空手道に励んでいる道場生や指導者にとって、試合に勝つことは「目標」であって、「目的」ではありません。目的はあくまで「道場訓」にある「人格完成に努めること」ではないでしょうか。静岡県本部としましては、今後、更に会員の拡大に努め、技術の向上を求めるとともに、会員がしっかりとした礼儀を身につける事が出来、立派な人間に成長することを目的として、皆さんと一丸となって頑張っていきたいと思っております。本年もよろしくお願いいたします。(静岡県本部長 大井 久生)

## ■第9回全日本障害者空手道競技大会■



平成25年10月12日(土)に東京体育館にて全日本障害者空手道競技大会(全空連主催)が行われ、岡村好幸さん(西焼津支部誠空館所属)が身体障害車椅子部門形競技において堂々の優勝を飾りました。岡村氏は7年前に脳梗塞を患い右半身不随という

ハンデを負いましたが、家族や職場の支えの下、1年半に及ぶ過酷なりハビリを乗り越え、見事社会復帰を果たしました。現在では、連日増田誠二師範の厳しい指導を受け、一流の武道家、そしてアスリートとして各方面にて活躍中です。師範によると、「岡村君の進化は留まるところを知らない。学生時代に鍛えた体と強靱な意志力が彼を常に進化されている」と言います。重病を克服した岡村氏の今後の活躍が期待されます。(レポート：広報部 秋山 高士)

## ■第14回 JKS 静岡県西部地区空手道大会■



11月3日(日)に第14回静岡県西部地区空手道大会が、菊川南陵高校体育館にて開催されました。当日の天気はあいにくの曇り空でしたが、西部地区での今年最後の大会ということで、館内はいつになく熱気にあふれていました。日頃の練習の成果を、発揮する為に念入りなチェックをする選手が多く、顔つきも真剣そのものです。大会がスタートすると

同時にコート内では、気合の入った選手達の声が響きわたっていました。技・攻撃・速さに毎回のことながら圧倒されて、応援する私達も力が入りました。結果は様々でしたが、その時感じた気持ちを忘れないでこれからの練習につないでほしいと思います。最後に今大会の運営を支えていただいた関係者様、県内より応援に駆け付けていただきました各支部の先生方、そして進行をサポートしてくれた菊川南陵高校の野球部・空手部の生徒の皆さんのおかげで今回も素晴らしい大会になりました。心より感謝申し上げます。(レポート：掛川将陽館支部 村松知受子)

## ■平成 25 年度東海北信越地区審査会・講習会■



平成 25 年 11 月 10 日(日)静岡市葵区の北部体育館で東海北信越地区技術講習会が、関係各県会員約 130 名参加のもと実施されました。今回指導していただいた型は、壮鎮ならびに古典型の明鏡二段・鶴翼三段でした。総本部指導員から、

直接指導していただく機会はめったにありません。特に古典型の 2 つは、順序すら満足に知りません。松江指導員及び岡本指導員の一举動を見逃すまいと集中して臨みました。両指導員から、それぞれの型の立ち足や挙動を丁寧に説明していただきました。自分としては、古典型を講習会の時間内で覚えてしまいたかったのですが、残念ながら目的の半分も達成できませんでした。古典型は、今回撮影したビデオを見ながら覚えていきたいと考えています。また、今回自分は資格更新を行うために参加しており、審判の実技では、判定や安全面の考慮等、いろいろ注意点を指導していただきました。そして閉講式を迎え今回の講習会が無事終了しました。講習会では、金山師範をはじめ、本部指導員の方の厳しい中にもユーモアを交えた指導により、ほんの少しですが、講習会の参加前より自分では進歩したと感じております。今後も可能な限り講習会に参加したいと考えております。(レポート: 焼津支部 中野 圭介)

## ■第 10 回西焼津支部誠空館 記念大会■



11 月 23 日(土)焼津市民体育館にて西焼津支部誠空館 10 周年大会が幼年から一般会員の 100 名が参加し盛大に開催されました。空手着に袖を通したばかりの選手や県大会上位の常連選手など様々でした。トーナメントの他に兄弟団体型演武、親子団体型演武と会場を盛り上げていただきました。特に岡村親子チームは車椅子を駆る岡村好幸さん

(父)の平安型に母・子が合わせる見事な演武が印象的でした。会場内で中学生 2 名に「高校に進学しても空手道を続けてください。」と声を掛けてみると「僕達は空手道を続けます。この誠空館でやり続けます。」と中学生とは思えない力強い発言が帰ってきた事に驚きました。閉会式終了後、中学生が中心に増田誠二支部長と奥様に花束と素晴らしいメッセージが送られました。道場生全員が心の底から感謝し先生を慕っている事が良くわかりました。日頃より、愛情と情熱を持った素晴らしいご指導をされているのでしょう、増田先生も目頭が熱くなったようです。空手道の先生は教育者である！今後も先生を手本に目標として行きたいと思います。(レポート: 将陽館 菊地伸幸)

## ■平成 25 年度 12 月期昇段審査会■

■少年部初段■	松坂 賢病(西焼津)	松下 和矢(焼将陽)	正武田 成(清水)	中村 隆誠(清水)
富田 淳希(西焼津)	藪崎 信(藤 枝)	皆越 英之(静岡東)	村松 滯(川 根)	大石 悠真(藤 枝)
和泉 碧(大井川)	宮島 侑人(島 田)	早川 昌良(焼将陽)	藤江 海世(静岡南)	萩原満莉菜(清水)
■一般部初段■	風間 寿江(静岡西)	中山 豊章(清水)	■一般部弐段■	平松 友和(島 田)

## ■第 38 回清水空手道スポーツ少年団大会■



平成 25 年 12 月 15 日、清水長崎新田スポーツ交流センターに於いて第 38 回清水空手道スポーツ少年団大会が開催されました。年々参加者も増えており、盛況を呈する大会となりました。幼年から一般まで、型・組手の通常の試合はもちろんのこと、先生やファミリーによる型の演武や車椅子の演武・多学年混合の子供達による型の団体戦等、多種多様な試合内容となりました。日頃の練習の成果を遺憾無く発揮できた選手、初めての試合でぎこちなくなってしまう選手と様々でしたが、皆真剣な眼差しで試合に臨んでおりました。自分も選手として試合に参加させていただきましたが、日頃指導していただいている先生方を前にしての試合で、恥ずかしい所は見せられないという思いが強く、大きな大会とは違った緊張を感じておりました。最大の敵は自分であり、これがかなりの強敵でありました。気負わず練習した事を素直に出せば良いのですが、なかなか思うようにはいきませんでした。今年は黒帯になることができ、やっとスタート地点に立てました。生涯続けられる空手を楽しみながら精進して行きたいと改めて思いました。末筆とはなりますが、大会を開催して下さった先生及び、遠方より審判として参加して下さいました先生方、コート係等サポートして下さいました。御父兄の皆様がこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。(レポート: 清水支部烈士館 川口 洋充)